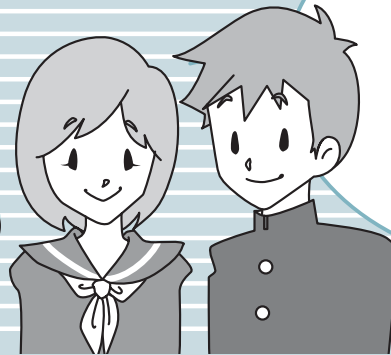


キャリア・スタート・ ウィークが 始まります。



「学ぶこと」、
「働くこと」、
「生きること」の
意味を子どもたちと
考えよう！



キャリア・スタート・ ウィーク(職場体験)とは？

文部科学省では、子どもたちの勤
労観・職業観を育てるため、推進地
域を指定し、中学校において5日間
以上の職場体験を行う学習活動を実
施しています。

県内では、平成12年度から「わく
ワーク(work)体験」として実
施し、3日間の職場体験を行って
きました。今年度、七尾市がキャリ
ア・スタート・ウィークの推進地域
に指定されたことにより、3日間を
5日間に延長して職場体験に取り組
むことになりました。

職場体験により、子どもたちの体
験や体験先の方々と人間関係が深ま
り、働くことの素晴らしさ、喜び、
厳しさなどを体験できることが期待
できます。

対 象

七尾市内全中学校9校2年生
約600人

実施期間

7月上旬から8月下旬

受入事業所の数

七尾市全域 延べ約200事業所

～職場体験で育てたい4つの能力～

●意思決定能力

自分の意思や責任で、
選択や決定を行い、課
題に取り組む。

●将来設計能力

夢や希望を持って、今
後の生き方を考え、将
来を設計する。

●情報活用能力

学ぶこと、働くことの
意味を理解し、自分の
進路や生き方の選択に
活かす。

●人間関係形成能力

いろいろな人とのコミ
ュニケーションをとり
ながら、協力しても
のことに取り組む。

パネルディスカッションをとおして学ぶ 中島中学校 全校生徒

職場体験が実施されるのにさき立ち、中島中学校では職場体験の心構えを学ぶため、地元企業の方々をパネラーにお招きし、校長先生がコーディネーターとなつて、パネルディスカッションを行いました。パネラーの方からは、次のようなお話がありました。

働くことは、 社会に貢献すること

職場体験をとおして、地元企業がどのように七尾市の発展を支えているか、貢献しているかを見てほしい。その中で、自分たちが育つたということを理解して感謝の気持ちをもつてほしい。

そして、働くことは、給料をもらうためだけでなく、社会に貢献することだということを感じてほしい。

そのほかにも、「あいさつをしつかりすること」、「人の意見を素直に聞くこと」など基本的な心構えのお話もありました。



Q 生徒から、こんな質問がありました。

- Q** 仕事をしていく上で、大切なことは何ですか。
A お客様の立場になって考え、思いやりの心を持つこと。
A 「継続は、力なり。」必ず結果がでるので、あきらめないこと。
Q 今後、私たちは社会に出て行く中で、どんな力を身につけていけばよいですか。
A 学校生活でたくさんの友だちをつくり、良い人間関係を育ててほしい。

みなさんに聞きました。

今度、中島郵便局で職場体験をします。郵便物がどのようにお客様の手元に届くかを知りたいと思つていたので、いい機会になりました。仕事の内容は、切手販売や配達のお手伝いになると思っています。できる限りお客様と笑顔で接して、自分に甘えずしつかり体験したいと思えます。



中島中学校 2年2組
松本佳澄さん

昨年はコンビニエンスストアで商品陳列やレジでの袋詰めをしました。初めての体験だったので疲れましたが、お客様との接し方など、勉強になりました。また、社員の方々が楽しそうに働いているのが、印象に残りました。今回体験する2年生には、人とのコミュニケーションのとり方を学んでほしいです。



中島中学校 3年1組
境 達也さん

地域のみなさんへ
 職場体験に取り組む子どもたちを見かけたら、あたたかい励ましの言葉をかけてあげてください。地域の宝、子どもたちをあたたく見守りましょう。

家族のみなさんへ

この体験は、子どもの新たな一面を見つける機会になります。子どもの将来のことや働くことについて話し合ってみましょう。



株森村自動車商会
代表取締役社長
森村 好雄さん

当社で子どもたちが職場を体験し、地域のひとにかかわることを通して、将来働くこと、これから生きていくことについて考える機会を持つ手助けができればと考えています。そして、この地域から自動車業界があつと驚くニューアイデアが将来生まれることに期待します。また、私たちも数日間を共にする子どもたちの輝く目、明るい声から学べることもありそうに期待しています。

※職場体験に関するお問い合わせは
 学校教育課 ☎53-8435